

茨木市議会議員

あびこ浩子

ゆめ・みらい通信



連絡先：（あびこ浩子事務所）茨木市中穂積3丁目1-35

TEL&FAX 072-601-0569

ウェブサイト：<http://www.hcn.zaq.ne.jp/abiko-h/>

<あびこ浩子の実感>

普通の主婦が選挙に出たら、不思議なことがいっぱいあった！

- 高齢者や子どもたち、障がいを持つ人、病気をもつ人など弱い立場の人たちが安心して暮らせる街にしよう！それは誰にでも優しいまちだから。子育てしながら街に出ようよ！街に出られる社会にしよう！子育て支援で社会を変えよう！

あびこ浩子（安孫子浩子）

- ◆1961年生まれ。玉櫛小・南中卒業／1980大阪府立千里高校卒業／1984関西大学文学部卒業／2008大阪市立大学大学院創造都市研究科共生社会研究分野修士課程修了
- ◆1984高槻市立第7中学校教諭／1987茨木市立三島中学校へ転任1990退職／2000沢池幼稚園PTA会長／2002穂積小IPTA会長／2006茨木市PTA協議会会長／2004NPO法人Chacha-House 代表理事
- ◆穂積小学校区青少年健全育成運動協議会会長／NPO法人子育て広場全国連絡協議会理事／茨木市議会議員／夫、長女（大1）・次女（高1）・長男（中2）の5人家族

4月13日茨木市議会議員補欠選挙 17370票で当選！

「あびこ浩子、議員活動スタート！」

みんなの思いを政治の場へ！！

さる4月13日（日）に投開票された「茨木市議会議員補欠選挙」において、見事初当選を果たしました。

茨木市長選挙が、無投票となり、そのあおりもあり、23.06%というとても低い投票率でした。

子どもたちのことはもちろん、子育て家庭、高齢者の方々、障がいや病気を持つの方々、ひとり親家庭の方々など多くの声を政治の場へ届ける活動をスタートしました！皆様と

共に歩んでまいります！



茨木市6月補正予算決まる！

予算総額1418億6567万円、一般会計751億8984万円

あびこ浩子、早々に議会質問に立つ！！

野村市長2期目のマニフェストを形にするべく、6月議会が行われました。

当選したばかりとはいえ、本会議での一般質問に立ちました。議

会の慣習などは全く知らない中、日頃の思いをきちんと届けたい！！そんな決意で臨みました。

詳細は次ページにて。

6月定例議会本会議で初質疑をしました！

機構改革が行われました。

課名の変更がありました。
変更は以下の通りです。

旧	新
総合防災課	危機管理課
法制文書課	政策法制課
企画調整課	政策企画課
情報政策課	情報システム課
福祉総務課	福祉政策課
人権同和課	人権推進課
減量推進課	環境政策課
都市計画課	都市政策課
ダム推進課	ダム・新名神推進課
教育総務課	教育政策課
教職員課	学務課



「まちづくり協議会」には地域福祉の視点を！

茨木市の新しい街づくりの方向性として「地域担当職員制度」が提案されました。

これは今後茨木市がこれまでの市民からの要望に応える一方通行の市民サービスから、市民自身が「自分たちのまちは自分たちで創る」という方向への転換でもあります。担当職員の方々のアドバイスのもと、小学校区ごとに「まちづくり協議会」を立ち上げ、今はバラバラの自治会等への補助金を一括して下ろし、それぞれの地域の課題にお金を使っていこうというものです。

地域課題を検討する組織作り、そして課題を発見する仕組み作りが何よりも必要です。

地域で困っている方々の声が届けられる「まちづくり協議会」であることがまず確認されるべきだ

と述べました。

併せて、これまで「小学校区福祉委員会」取り組んできた「地域福祉計画策定」の取り組み。全小学校区でのワークショップ開催等に平成15年10月～平成18年3月末までで8,922,450円が支出がされています。今回「地域担当職員制度」の新たに取り組み（モデル地区実施2校分）に3,000,000円の支出がなされます。是非とも「地域福祉計画」での取り組みを検証し、生かしていくことが必要だと述べました。

担当課が違うといえども地域は同じ。福祉分野であれ、市民活動分野・都市計画分野であれ行政の縦割りで無理だとせずに機構を超えた取り組みを期待します。

モデル地域に当られた皆様の活動を見守りたいと思います。

＜あびこ浩子の実感＞

普通の主婦が選挙に出たら、不思議なことがいっぱいあった！

- 高齢者や子どもたち、障がいを持つ人、病気をもつひとなど弱い立場の人たちが安心して暮らせる街にしよう！それは誰にでも優しいまちだから
- 子育てしながら街に出ようよ！街に出られる社会にしよう！子育てで支援で社会を変えよう！

第1号

在宅子育て支援の現状とこれから

少子化が言われて久しいですが、主に0歳～3歳の多くの子どもたちが在宅で育てている現実を受けて「在宅子育て支援」が取り組まれ、その更なる充実が望まれています。

在宅子育て支援の取り組みとして国により「地域子育て支援拠点事業」が実施されており、毎年のように制度が変わっています。

茨木市でもこの事業の中の「つどいの広場事業」「子育て支援センター事業」が取り組まれています。この事業は国・府・市の三者による事業です。茨木市では「子育て支援センター」7か所・「つどいの広場」12か所と「次世代育成行動計画（前期）」の目標達成に向けて取組が進められています。ただこれまで茨木市が頑張ってきた取り組みにも関わらず、この計画の間に国の制度が変わり、「支援センター」と「ひろば」を同列で数えることとな

り、「中学校区に1か所」との基準の中学校15校分からは6か所はみ出しています。今後の補助金の方向は不透明です。大阪府の改革案は今回国の事業には手をつけませんでした。が次年度以降、6500億円の削減のためには、対象になるのではないかと危惧しています。

また新たに「こんにちは赤ちゃん事業」が取り組まれ、生後3か月時に保育士による全戸訪問が実施されます。悩み相談を待つだけでなく出かけていって聞かせてもらうアウトリーチの取り組みです。相談を地域課題として継続した取り組みに繋ぐ仕組みづくりが必要だと述べました。

今年度から次世代育成行動計画（後期）策定に向けて取組が始まります。子育てしやすい茨木市となり、茨木市で子育てしたいと思ってもらえるまちにと願っています。

建設常任委員会に所属しました。

「地区計画」ってどんなこと？／「まちづくりポータルサイト」

「地区計画」をご存じですか？住んでいるまちの「良好な住環境」を守りたい、商店街の道を整備するのであわせて建物のルールをつくりたいなどの目指すまちの目標を都市計画として条例にまとめることができます。

良好な住環境を維持するために例えば「1区画160㎡以上」等と決めることができます。ただそ

のような決まりになると高所得者しか住めないまちになるのではと感じました。茨木市全体での住宅政策のあり方を決める住宅マスタープランはないので、今後の検討をお願いしました。

WEBを利用した「まちづくりポータルサイト」が始まります。アクセスできない方に不利にならないような配慮をお願いしました。

「こども育成部」の新設

子どもに関する施策を総合的に進めます

課名	場所	主な業務
こども政策課	南館2階 21番窓口 ☎620-1625	乳幼児医療費助成
		ひとり親家庭医療費助成
		児童手当・児童扶養手当
子育て支援課	南館2階 19番窓口 ☎620-1633	子育て支援総合センター
		在宅子育て支援
保育課	南館2階 20番窓口 ☎620-1638	保育所
		あけぼの学園

教育：E-LEARNINGの導入・中学校普通教室クーラー設置

教育関連では、新しい試みとしてインターネットを介して学習できるシステムとして新聞でも取り上げられた「E-LEARNING」や中学校普通教室へのエアコン導入などが決まりました。

